

# 119番通報は慌てず落ち着いて

11月9日は「119番の日」です。今号では、いざというときに、早く正確に通報できるよう、119番通報のポイントをお知らせします。

〒市消防本部指令課指令係 ☎ (260) 5772 ㊚ (262) 0119

市消防本部が119番通報を受けてから、現場への到着時間は平均7分26秒で、このうち通報を受けてから出動指令までの時間は平均1分39秒です(平成30年実績)。通報者からの聞き取りが早くできるほど、速やかに出動できます。1秒でも早く火事や救急の現場に到着するために、指令員の質問に落ち着いて答えてください。

## 119番通報で伝える 3つのポイント



通報時、指令員からの質問のポイントは3つです。

### 1 「火事」か「救急」か

最初に、「火事」か「救急」か伝えてください。

### 2 場所を特定するための住所や目じるし

住所が分かるときは「大和市〇〇一丁目～」など、市名を省略せず、はっきりと伝えてください。

住所が分からないときは、近くのビルや店舗などの目じるしとなる建物名を伝えるか、最寄りの電柱の管理番号を読み上げてください。

### 3 状況を簡潔に

火事や傷病者のようすを簡潔に伝えてください。

火事の場合 ▶ 「どこで何が燃えていますか」

→ 「台所で天ぷら油が燃えています」



「炎の高さはどのくらいですか」

→ 「2メートルくらいです」

救急の場合 ▶ 「誰がどうしましたか」

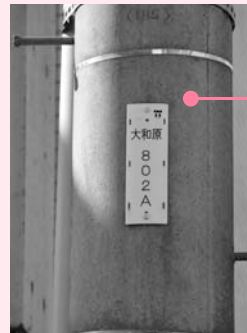
→ 「70歳の父が突然倒れました」



「意識や呼吸はありますか」

→ 「意識はありません。呼吸はしています」

### 電柱の管理番号で通報場所が分かります



東京電力の電柱につけられた管理番号のプレート

電柱を見上げると、管理番号が書かれたプレートがついています。自分がいる場所が分からなくても、この電柱の管理番号を伝えてもらえると通報場所を特定できます。

## 17の多言語に対応

市は、日本語以外の言語による119番通報に対応するため、今年4月から17言語の通訳サービスを導入し、24時間365日対応しています。

対応している言語 ▶ 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、ネパール語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロシア語、マレー語、ミャンマー語、クメール語。